

授業科目 児童福祉論Ⅰ

【担当教員名】 豊田保	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

子ども家庭福祉に関する基本的考え方と理念、歴史、実施体制、サービスの内容、援助方法論について理解する。

- 1 子ども家庭福祉に関する基本的考え方と理念を理解する。
- 2 子ども家庭福祉の歴史を理解する。
- 3 子ども家庭福祉の実施体制、サービスの内容を理解する。
- 4 子ども家庭福祉分野での援助方法論を理解する。

【学習目標】

- 1 教科書の内容を把握し、理解する。
- 2 子ども家庭福祉について、関連図書による理解を深める。
- 3 子ども家庭福祉に関する新聞記事等を収集し、事実に基づく理解を深める。

回数	授業計画又は学習の主題	学習方法
1	子ども家庭福祉の基礎概念を理解する。	講義による(以下、同じ)。
2	子ども家庭福祉を取り巻く状況を理解する。	
3	同上	
4	同上	
5	子どもの権利について理解する。	
6	子ども家庭福祉の歴史を理解する。	
7	同上	
8	子ども家庭福祉行政について理解する。	
9	同上	
10	同上	
11	子ども家庭福祉に関する施設について理解する。	
12	同上	
13	子ども家庭福祉サービスについて理解する	
14	子ども家庭福祉に係る専門職と、その援助について理解する。	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	『よくわかる子ども家庭福祉』	山縣文治編	ミネルヴァ書房	2002年
参考書	『社会福祉小六法』	ミネルヴァ書房編集部編	ミネルヴァ書房	2003年
	『社会福祉基本用語集【四訂版】』	「シリーズ・21世紀の社会福祉」編集委員会編	ミネルヴァ書房	2002年
その他の資料	講義ごとにプリントを配布する			

【評価方法】 講義への出席状況、期末試験またはレポート 総合して評価する。	【履修上の留意点】 教科書を読了すること。
---	--------------------------